



Q

肺炎から高齢者を守るために

こばやし
小林ひとみ 議員



A

接種率向上のため、定期接種の再勧奨通知に取り組む

問 肺炎球菌ワクチンの予防接種の取組について。

答 高齢者の肺炎は、重症化しやすいと言われており、肺炎球菌予防ワクチンの接種が有効である。

国では、5年をかけて65歳以上の全ての高齢者に生涯1回の定期接種の機会を設けたが、いまだに接種していない方がいるため、さらに5年間延長をした。本市では、毎年4月に当該年度の対象者に個別の案内通知を送付し、定期接種の勧奨を行っている。また、接種機会の確保や周知に努めている。

問 昨年の対象者の接種率は。

答 平成30年度の肺炎球菌定期予防接種の接種率は、51・7%である。

問 県内で定期接種未接種の対象者に再勧奨通知を実施した自治体

は。また、その成果は。

答 本市を除く西部11市の内、5市で実施しており、通知発送後の接種率が向上したと伺っている。

問 接種率向上のため、再勧奨通知をすべきではないか。

答 65歳到達者に対する再勧奨通知は、非常に効果があると考えている。このため、再勧奨通知の実施を検討している。

◎**その他の質問** 台風19号から学

ぶもの

は。また、その成果は。

答 本市を除く西部11市の内、5市で実施しており、通知発送後の接種率が向上したと伺っている。

問 接種率向上のため、再勧奨通知をすべきではないか。

答 65歳到達者に対する再勧奨通知は、非常に効果があると考えている。このため、再勧奨通知の実施を検討している。

A

来年度、2人分程度の予算を確保したい

Q

定期予防接種の再接種への助成を

やまなか
山中 基充 議員



問 小児白血病等に対する骨髄移植などの造血幹細胞移植や抗がん剤治療を受けると、過去に接種したワクチンの効果が消失することが多く、感染症を防ぐために再接種する必要が生じる。しかし、予防接種法では、再接種は自己負担となり、全て合わせると20万円強

の費用負担が必要と言われている。予防接種の実施主体は市町村であり、県内では越谷市、入間市、草加市、春日部市、羽生市、志木市が再接種を助成の対象としている。鶴ヶ島市でも実施を。

答 乳幼児期に接種する8種類の定期接種を全て接種した場合、22

万円程度の費用がかかる。本市でも、過去に要望等があったため、来年度予算で再接種費用の助成ができるよう、既に予算要望をしている。財政ヒアリング等を経て議案とし、議会の議決をいただきたいと考えている。

◎**その他の質問**

- 一 内水ハザードマップの整備を
- 二 学校校舎外のトイレの整備を
- 三 ピロリ菌検査と除菌の実施を

